

<p style="text-align: center;"><b>コミュニケーション英語</b> (English in Communication)</p>		<p style="text-align: center;"><b>2 年 ・ 後 期 ・ 2 単 位 ・ 選 択 必 修</b> <b>3 専 攻 共 通 ・ 担 当 藤 原 郁 郎</b></p>	
		<p>〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕</p> <p>C - 2 ( 80 % ) , D - 1 ( 20 % )</p>	<p>〔JABEE 基準〕</p> <p>(f), (d-2a)</p>
<p>〔講義の目的〕</p> <p>この授業では、学生が主体的に中心となり英語の 4 技能（読む、書く、聞く、話す能力）をできる限り駆使し、彼等の実用的な英語運用能力を総合的に高めることを目的としている。その目的を達成するため、できる限り学生の実生活に身近な話題を利用し、「学ぶ楽しさ」を通して英語に対する関心が高まることを願っている。</p>			
<p>〔講義の概要〕</p> <p>授業では基本的に英語による指導と解説がなされる。また、学生には英語による対応が求められる。そこで、できる限り視聴覚補助教材を提示し、学生の教材に対する理解を損なわないよう配慮する。</p> <p>この授業では、あくまで学生が中心である。学生の積極的な授業への参加が評価にも大きく関わる。学生自身が楽しみながら参加できる授業を創っていった欲しい。</p>			
<p>〔履修上の留意点〕</p> <p>本講座では積極的な授業参加を重要視する。毎時間課題があるのでしっかり取り組むよう期待する。授業の際には、英和・和英・類語辞書を用意しておくこと。</p>			
<p>〔到達目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 映画や洋楽に使用されている authentic な英語表現を理解できる。</li> <li>・ 映画や洋楽で扱われているトピックに対して理解を深める。</li> <li>・ PowerPoint を使用して、英語での効果的なプレゼンテーションを行うことができる。</li> </ul>			
<p>〔評価方法〕</p> <p>Class Participation (20%) / Presentation (30%) / Handouts (20%) / Newton TLT (30%)</p>			
<p>〔教科書〕</p> <p>Newton TLT e-Learning 「英語脳の創り方」</p> <p>〔補助教材〕</p>			
<p>〔関連科目・学習指針〕</p> <p>英語表現法、英語読解法、プレゼンテーション英語</p>			

## 講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	Introduction	講義のガイダンス、Handout 1 の提示	
第2週	Handout 1	解答解説	
第3週	Handout 1	解答解説／Handout 2 配布	
第4週	Handout 2	解答解説	
第5週	Handout 2	解答解説／Handout 3 配布	
第6週	Handout 3	解答解説	
第7週	Handout 3	解答解説／Handout 4 配布	
第8週	Handout 4	解答解説	
第9週	Handout 4	解答解説／Handout 5 配布	
第10週	Handout 5	解答解説	
第11週	Handout 5	解答解説	
第12週	How to make a presentation (1)	プレゼンテーション作成について	
第13週	How to make a presentation (2)	プレゼンテーション作成について	
第14週	Presentation (1)	学生自身が選んだトピックについてのプレゼンテーション。	
第15週	Presentation (2)	学生自身が選んだトピックについてのプレゼンテーション。	

\* 4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった.  
 (達成) (達成) (達成) (達成) (達成)